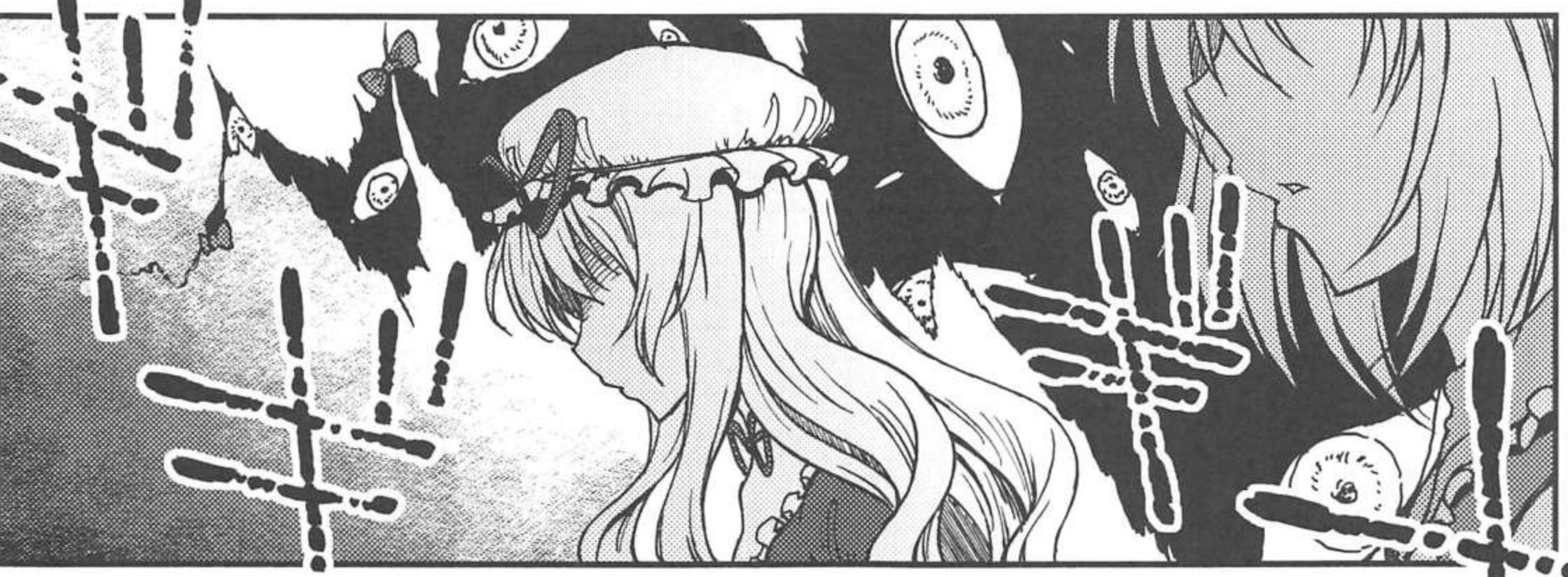
エス書店

成人向

今すぐ犯して

ナー
ナー


！！
！！

藍　下がっていいわよ

はっ

……紫様
僭越ながら
申し上げますが

近ごろ、少々
入れ込みすぎでは？

紫様がひとりの人間の庵に
通い詰めている事…
神々や妖怪の間でも
既に噂されております

それにあの男は…

藍

下がっていいわよ

…出過ぎた真似を…
ではこちらを

ええ、ありがとう

……周りの噂など
どうでもよいのだが

紫様
あなたはそれで
良いのですか……？

ふふふふふ

ふふふふふ

妖怪の賢者が

人間に想いを寄せているだなんて

ふふふふふ

ああ可笑しい

あははは

あはははは

紫さん

あ、起こして
しまいましたか？

ガチャ

トニトニ

ケホ…

ゲッ

ゲッ

ゲッ

横になっていてく
もうじき夕餉の支度が
整いますので

はい

いつも……すみません

…あっ。

今朝獲れた牡丹です

獣の肉ですか……

貴方は血が悪いのですから
肉を食べないといけません

我が儘は駄目です

でも、美味いです

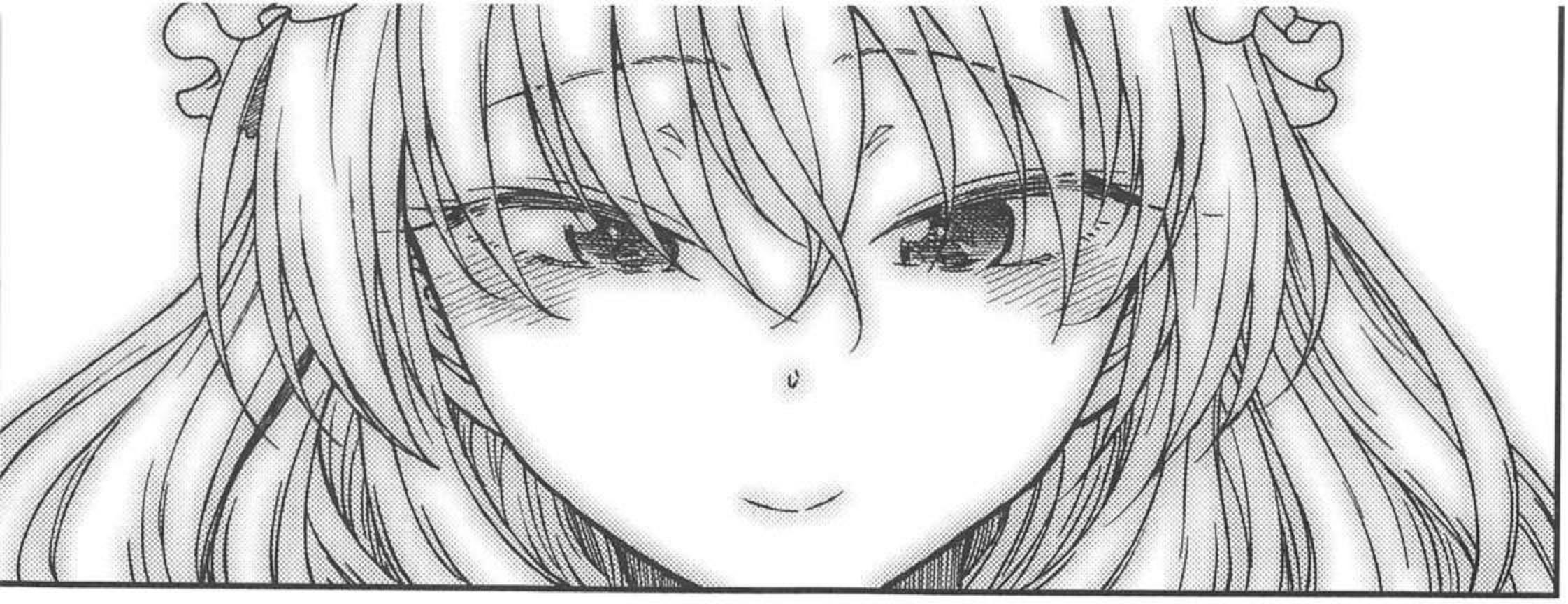
い、頂きます

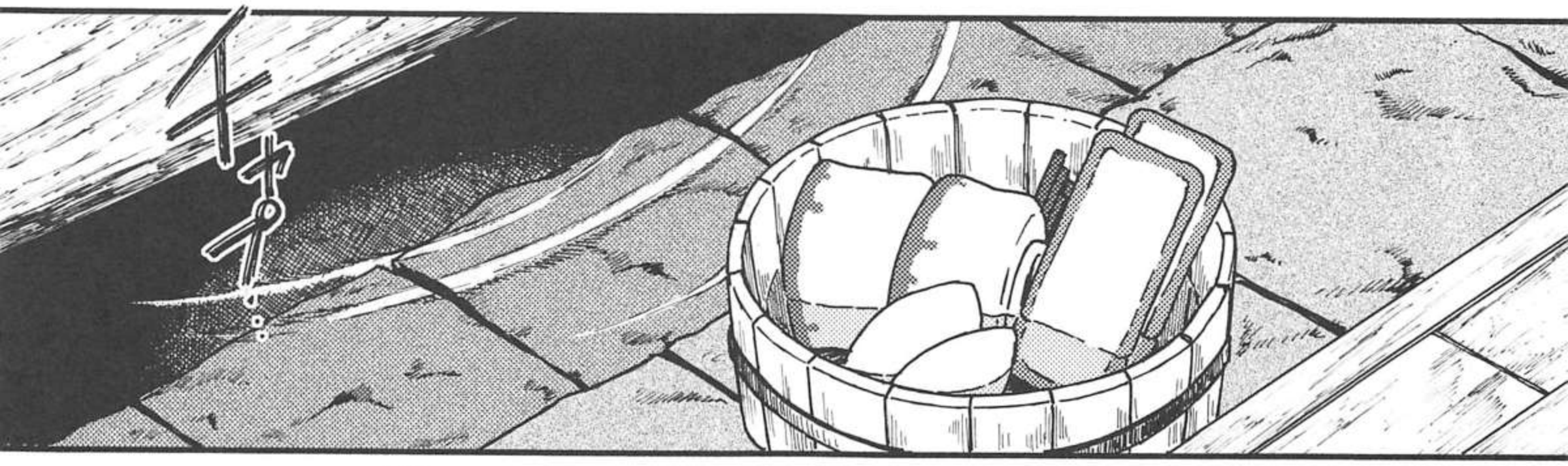
……紫さん
コレとっても硬いです

りょ、料理は
最近始めたので
仕方ありません

素材はいいものなので
全部食べてください

ありがとう





あ……
ああっ…
？…
食器の片付けがまだ…
後でもいいじゃないですか
紫さんがそばに居るとたまらないんだ……
それともこういうのは、嫌？
はあ
はあ
…！

嬉しい…

はぁ…

すごく嬉しいわ……

さわ…

ぐっ…

不思議な匂い……

スン

スン

スン

えっ、それって…

ぷるる

すぅー…

ぐっ…

何か…寝かせた
化粧の様な
落ち着いた香り…

な…

は…

紫さんの
匂い……

食事中もずっと
目に毒だったよ……

こんなに胸元を開いて
此方を誘って…

ああっ、そんな…

そんな
つもり…じゃ…

あっ♡

なかった？
こんなに先を
尖らせておいて…？

触られる前から
期待していたんじゃ…
…ないかな？

ぴくっ

あ…

ぐにっ

ス

いっ、いじわる
しないでっ……

ぎゅむっ♡
んっ…
ぴくっ
ぴくっ
きゃっ…♡
ちゃんと触ってて……
あっ♡
あっ…ふぅ♡
んっ…♡
すごいな、この乳房の弾力……

僕の細い指じゃ弾かれる
あっ♡
きゃっ♡
はっ♡
ビクッ
うぅ♡

其方も…お尻に硬いのが当たってますよ…♡
……
……もう♡
ふぅ
ふぅ
大きなお尻の谷間で挟まれたせいなので紫さんが悪いんですよ

シゴかれるだけで甘い声を漏らして…
はっ…♡
ぴくっ
ぴくっ
この家が人里から離れていて良かった
もみ
もみ
あっ…
まあい…♡

あ、そうだ紫さんにしてあげたい事があるんです
…え？

布団の上でうつ伏せになって下さい
は、はい……

え、えっと……
あの……これは？

ドキドキ♥

按摩ですよ

紫さんには
いつもお世話に
なってますから

ギュッ

ああ、これは……
重くて凝ってそうな
お尻ですね

い、言わないでっ……

何言ってるんですか
とても素敵ですよ…

ふる…

ふる…

ふる…

ムニュ〜♥

お…

それに何か
硬(こわ)ばっている様な

肌が冷たいですね…

夜はもう
冷えますから
気をつけないと

ぴくっ

お…

ぎゅ〜

お〜

そ、それは緊張で…

お♥

それでは解して
あげませんとね

ピクッ

もち。

先ほど僕を嬉しそうに挟んでいたのはこの谷ですね？

おや、冷えた肌と打って変わりこちらは随分温(ぬく)いですね

あ、貴方はまたそうやって私を揶揄(からか)ってっ……

ああ失礼、揉んで解さねば

ムニュ

手のひらにたっぷりと伝わる肉の量……

ぐっ

!!……っ

ぐ……

親指にじゅくじゅくとした感触がありますね…

ムニュ

ぐ…

ムニュ

ムニュ

ムニュ

うぉ

うぉ

あんっ

そ、そこを触って……

ぷる…

ぷる…

はぁ…

欲しい、です……

まるで熟れた桃を押し潰している様な…

ナデナデ…

さわって…

あっ…

あっ…

ア…

あ～っ

ヌチュヌチュ

ヌチュヌチュ

ヌチュ

すごい溢れ具合ですね…

僕の指の動きにいちいち反応してっ……

奥からどんどんと湧いてきますよ……

ぴくっ

ぴくっ

んっ

あっ

あっ

れろれろれろ

こりこり

あっ

あ～ん

んーっ

ぐっ

あっ

は～っ

ぷくっ

ぷくっ

あっ

ちゅぱっ

ちゅぱっ

そんなっ

だめっ

ちゅぱっ

ちゅぱっ

あっ

あ～っ

あっ
ぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐ

ビクッ…
プク
ビクッ…
っ…♡
見て下さい…紫さんが乱れているのを見ているだけで
こんなに勃ってしまいましたよ……
そんなっ…♡
触って……
はぁ…♡
はぁ♡
びくんっ
びくんっ
あっ…♡
すごい
すご～い
は～い
硬くて熱くて
びくっ
男性の…生命の”が”においがする……
“
は～い
びくっ
あっ…
あっ
ぬるぬる
ちゅぱ
ぬるぬる
ちゅぱ
紫さんの口っ…
温かいっ…
がくっ
がくっ
はむっ
んっ
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ

がぽっ
がぽっ
がぽっ
がぽっ
おっ
ぜっ
紫さんっ…
お尻が厭らしく
動いちゃってますよ…
僕のをしゃぶって
そんなに嬉しそうに…
ぷりんっ
ぷりんっ
ぐっ
ぐっ
ゆる
ゆる
ゆる
にはっ
ふふっ……
さて次は貴方が
横になる番ですわ
はぁ…
はぁ…
びくんっ
びくんっ
先ほどのお礼を
してあげませんと……
どちらがお世話を
される側なのか
しっかり
教えて差し上げます♡

はぁぁっ…♡
熱くて谷間が
焦げてしまいそう

んっ…♡

気持ち…いいですか？

は、はいっ…

もっともっと
気持ちよくなって…

全部っ♡
吐き出してくださいっ…

こちゅ
こちゅ
ちゅ
ちゅ

あ、
あぁ、

やぁっ

うわっ…

ああっ！
駄目です
そこっ…

ぷるんっ

ぷんっ

はぁっ

ハァハァ…

私に…貴方の全てを
ぶつけて♡

はっ

ズチュ
ズチュ
ズチュ
ズチュ

イ、イきますっ
で
射精ますっ

あっ…あ！

れろれろ

ぺちぺちぺちぺち

あまあま…

ぐりぐり

ぐりぐり

ぐりぐり

ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
あぁっ…いやぁっ♡
こ、これ以上焦らさないでっ♡
ぐぐっ
ぐぐっ
早く挿れっ……
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ

ああっ、紫さんの膣内っ…
襞がヌルヌルでっ

ズチュ
ズチュ
ズチュ

あっ
あっ
あっ

ぶるんっ。

入り口で僕の
根元を締め付けて…

肉棒に絡みついてくるっ

メチュ
メチュ
メチュ

あっ

ぶるんっ。

なんて欲深い
女陰(ほと)なんだっ!!

ピクッ

うっ
しっ

いやっ
だっ

ぶるんっ。

あっ

ドチュ
ドチュ
ドチュ

ぐぐぐ…

ボッ

…!!

っ…大丈夫
ですか!?

ボッ

ぬぼっ
ぬぼっ

キュッ
キュッ

感じてる紫さんっ
可愛いですよっ…!

……っ、いやあ
興奮して息が喉に
引っかかっただけです

ハハハ…

……

すいませんっ…

ああ、でも貴方の此処はっ…

まだこんなにっ♡固く反り返って…

喉が乾いたな

貴方っは♡

こんな時にっ…♡悪戯をっ……

ふふ♡

お世話は私の役目ですからっ…♡

いえ、あまり無理をなさらずにっ……

美味しいですか？♡

なでなで

うん

ぁっ

ぁ

ぁ

あっ

あああっこれはすごい

ハァ

ハァ

紫さんのまあるいお尻を堪能できますっ…

ハァ

ハァ

ハァ

ハァ

あっ、これ……

すごくっ…んっ♡恥ずかしいんですけどっ…♡

ああ…

桃色に染まった肛門も助平に咲いてますよ♫

ひぐ

ちゅ！…ぱぁ

ぷんっ

ころ

ころ

んっ

のっ…

のびちゃうっ♡

はぁ、元気出た

そのまま後ろ向きになってもらえるかい？

え？

紫さんっ…膣内(なか)がどろどろですよっ…

ハァ

ハァ

こうやって打ち付ける度にっ

あ

あ

あ

あ

あ

パ

ぞく

ぞく

ぞく

ビュッビュッ

ビュッ

あぁ

ぁぁ

ぁぁ

奥からどんどん溢れてくるっ……

ビュッ

きゅ

きゅ

きゅ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ぱっ
ぱっ
ぱっ

ビクン

ビクン

ビクン

ビクン

ビクン

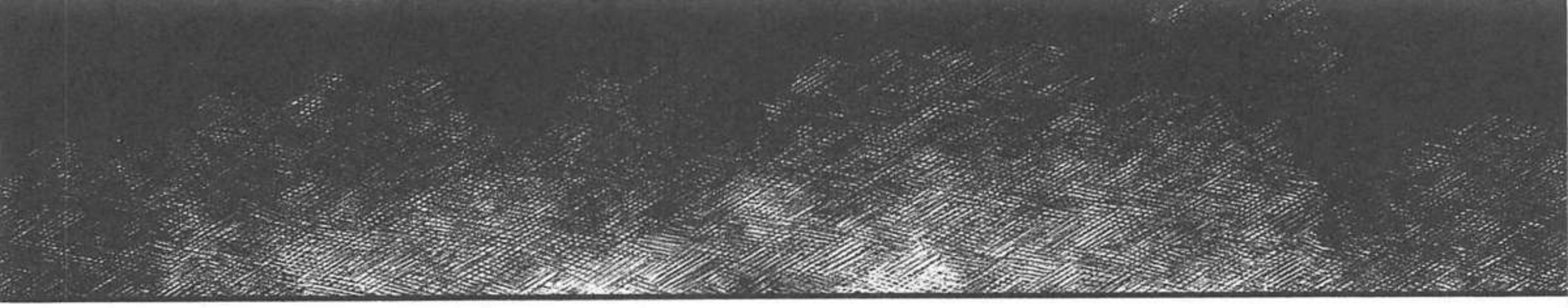
ビクン

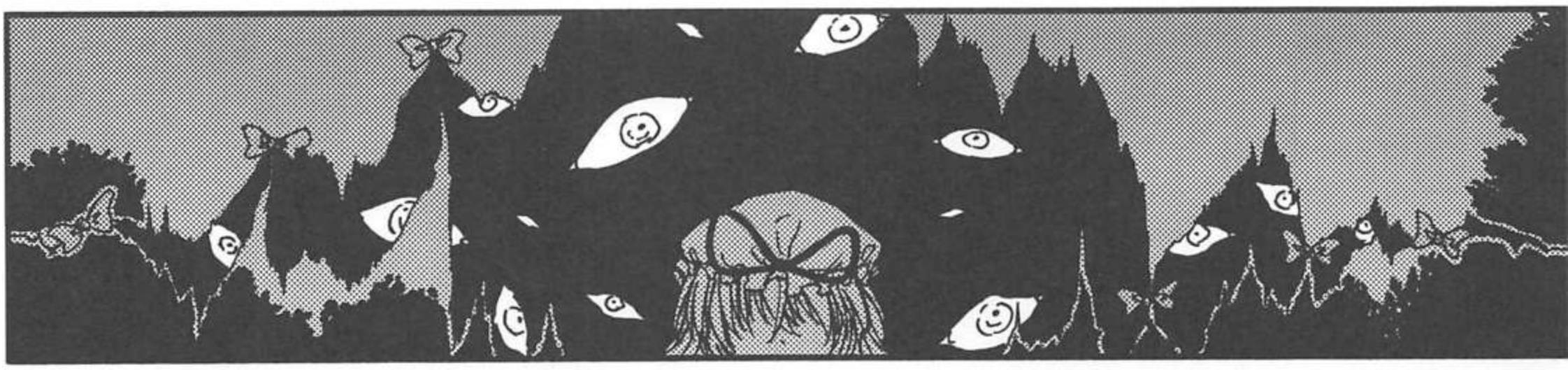
ビュッビュッ

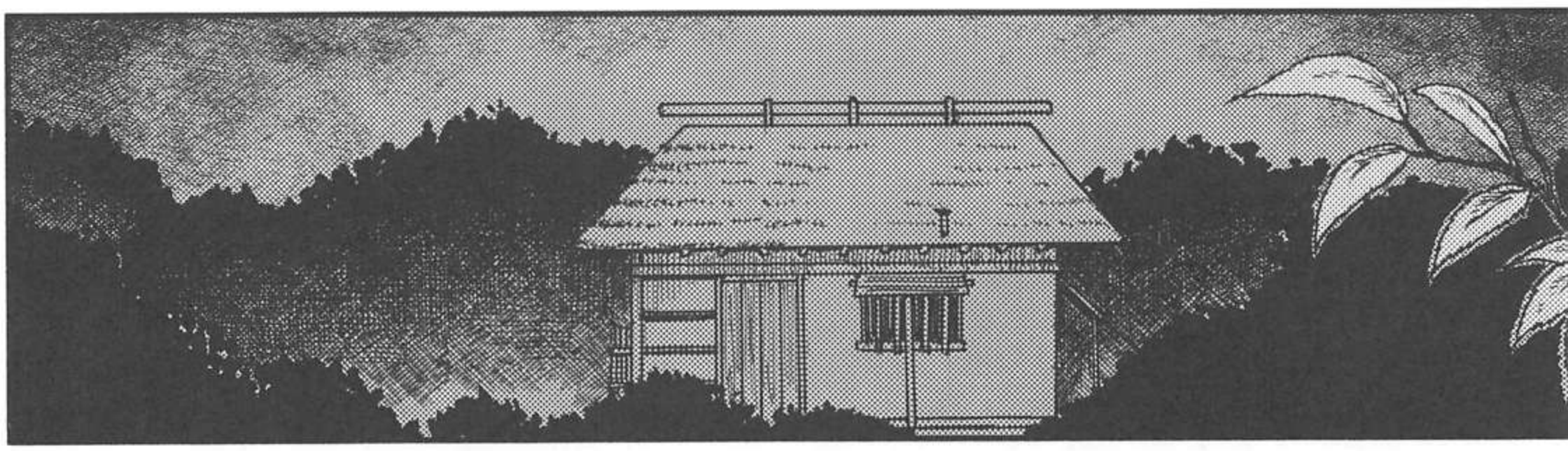
ビュッ

ビュッ

ぬー…
ぬー…
ビク
ビク
ギシャ…
ギシャっ
びく
びく
ぬちゃ
ぬちゃ
ん
ん
っ…
っ…♡
くりだ…
っ…♡
今……紫さんは
幸せかい――？
ええ、とっても……
貴方とこうしている
この時が……
永遠に







ゴホッ…
ゴホッ…
ゲホッ…
ゲエッ…
ッ……
ハアッ
ゲホッ…
労咳だ…君も
気をつけないと…
ああ……
ヒュ…
ヒュー…
紫さ……ん

手を……

冷たいだろう

体が死ぬ準備を
しているんだ……

分かる……

身寄りもなく
治す金も無い……

そんな僕に君は…
尽くしてくれた……

それももう、終わりだ

知らないふりを
していれば享受して
いられると思っていた

ゲホッ

ア…

傍(そば)に……

僕は……
一人の"ひと"として
君を愛した

紫さん……君は……？

ヒュッ…

ゲホッ

ッ……!!!

ッグッ

……ゼエッ

ケホッ……

そろそろ疲れた…

先に……
眠ることにするよ

今までありがとう

ーーふ…
ーーふーふ
あはは
死んだ
火遊びの種が♫
偉そうな大妖怪の想い人が♫
死んだ
人間の男が死んだところで
良い様だ
お前にはどうせ一瞬のくせに出来事の

ごそごそと何の音と思えば…夜中に一人で何をしておるのじゃ？

手慰みなど…我に任せてはみんか？

ん？

えっ、あの…

えっ、あっ、ごっ、ごめんなさいっ

お、お願いします

なんじゃ、もう吐きだしおって…

あっ、まっ…

先っぽだめっ…

未だ硬い故続けるぞ？

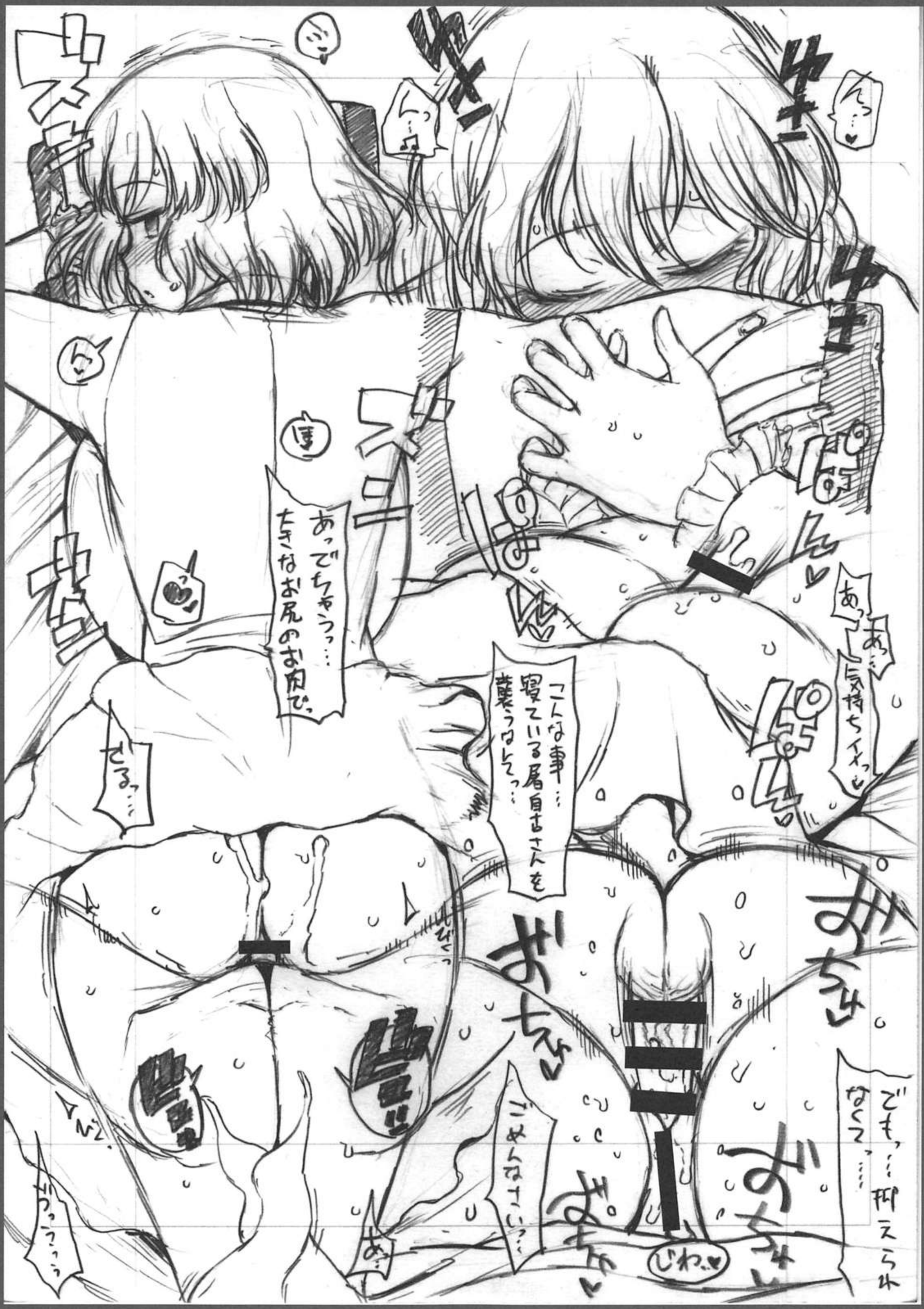
あっ

あ…

てちゃっ…

かぷっ

あ…


ス…スー
ん…
ん…
ほ
あっでもちゃうっ…
ちきなお尻のお肉ぴ
たるっ…
こんな事…寝ている屠自古さんを襲うなんて…
おちん
あっ…あっ気持ちイイっ
おちん
でも…邪えられなくて…
じわ…
ごめんなさい…
おちん
ぁん♡
おっ…っ…っ

どうですかて。
もう幻想郷には慣れましたかて。

は、ハイ…

まさか一緒にお風呂に入る事になるなんて…

ノニ

本当に？

えっ？

少しは道具というものが何たるかは理解できましたかみ

ところで君の今後の予定ですが！

すごいキレイなおっぱい…

おや？

あ、いえ…なんでも…

どうしました？

ハラ…

ゴク…

上に向いて張りがあって…

こうして裸で目の前に立っても…

本当に何ともないのですかて。

…

ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

番号！　いち！　……ヨシ！さんいです。今回から上下二段での後書きをお送りします。縦に長いな、と思っていたので。まぁどうせ誰も見てないんだけど……

十一年ぶりの東方本でした。いやーまさかこんなに永く漫画を描く事になるとは思わなかった。エス書店の発足と同時に絵を描き始めたので、もう十五年は漫画サークル活動やってるんですね。エス書店は意外と古参。絵と芸風が昭和。うるせえ！

その絵と漫画を描き始めて3年目で上白沢慧音4年目でレミリアを描いたんですね。その時に東方の世界観は魅力的だったんですが、二次創作において「なんで慧音が巨乳なの？」とかそういう流行りに対して何かこう斜に構えて納得できないまま消化不良になって描かなくなった感じで……上手く楽しみ方を編み出せなかったんですね。オチンチンも小さいですし。なんだと？

だけど、まぁ…例のアレと親和性の高いボイスドラマにハマり、そこからスチームで東方をプレイできることを知り、十年ぶりに新作の天空璋をやってハマり……と、まぁ見事に東方がまた好きになりまして。

普段はアイマス同人を作ってて、そちらを知ってる人なら分かると思うんですが、とても華々しいアイドルの二次創作とは思えない冴えない日常、芸能界の裏側みたいなのを妄想したものが多く、それは自分なりに面白さを優先した結果ではあるので

すが、なんだか仄暗い薄闇みたいな芸風なんですね。

で、東方もを気にせず受け入れ、なおかつ原作の設定を頂戴しつつ二次創作の潮流みたいなものであろうか」という目線を忘れずに創るとしたら誰が一番おもしろいか、ということで真っ先に思い浮かんだのが八雲紫でした。

妖怪で唯一の賢者であり（たしか）、幻想郷の管理人でもある彼女も多分に漏れず長命であり、絶対幸せになれないよな…と考え、そしてその恋の相手が甲斐甲斐しく世話をやきたくなってしまうような病人であったら……幻想郷の管理として、その男の定めである死に対して配慮する事も出来るわけがなくただそばに居てあげる事しか出来ない…みたいな。お前の漫画重いんだよ！

まぁそんな感じで超久々の東方本、ここ数年のウチの作風と相まって暗くベトベトしたモノになりましたが、自分の中ではスムーズに「これが俺の東方じゃい！」と気持ちよく上梓するコトが出来たかな？と思います。そしてこれが俺の金玉。グヨグヨ動いとるねえ。しけてんにぇ！

さて次はそけの東方神霊廟本です。ぶっちゃけまだハードノーコンですが、原ティニューでクリアしてないんですが、原稿やりつつ打破したいと思います。

へば、まづ

発行　：エス書店（http://3e.x0.to）　発行人：さんい（3e）
連絡先：tokyosexdestruct@infoseek.jp
発行日：2020年03月22日 静岡例大祭

印刷所：上野印刷様
未成年の購読・閲覧を禁止しております。

エス書店